

# のり海況速報 第11報 (23-11)

平成24年 2月22日発行  
 千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 2/20：内湾(わかふさ)、2/21：内房北部(わかふさ)  
 関東・東海海況速報、東京湾口海況図・ふさなみ航走水温データ(1/26-2/22)  
 拓南観測データ(11/1-2/22)  
 モニタリングポスト(2/20：国交省関東地方整備局)

## 【水温・塩分の状況】

内湾の表層水温(図1)は先週(2/13)からほぼ全域で8~9℃台になっています。  
 一方、内房北部の表層水温は沖合水の影響が弱まり、ほぼ10~11℃台になっています。  
 しかし、東京湾口への沖合水の流入は依然継続しており、水温14℃以上、塩分34以上の水塊が金谷付近でみられ、浦賀水道航路入口付近の5m以深にもこの水塊が流入していますので(図2)、この動きには注意が必要です。

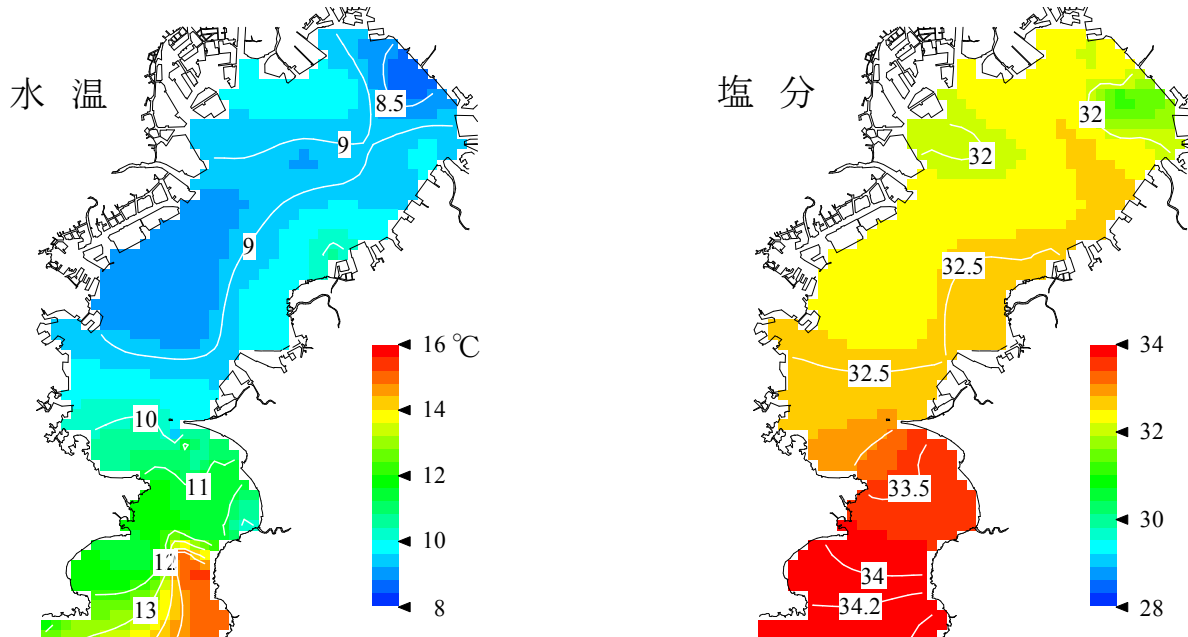


図1 表層の水温・塩分分布 (内湾～内房北部：平成24年 2月20, 21日)

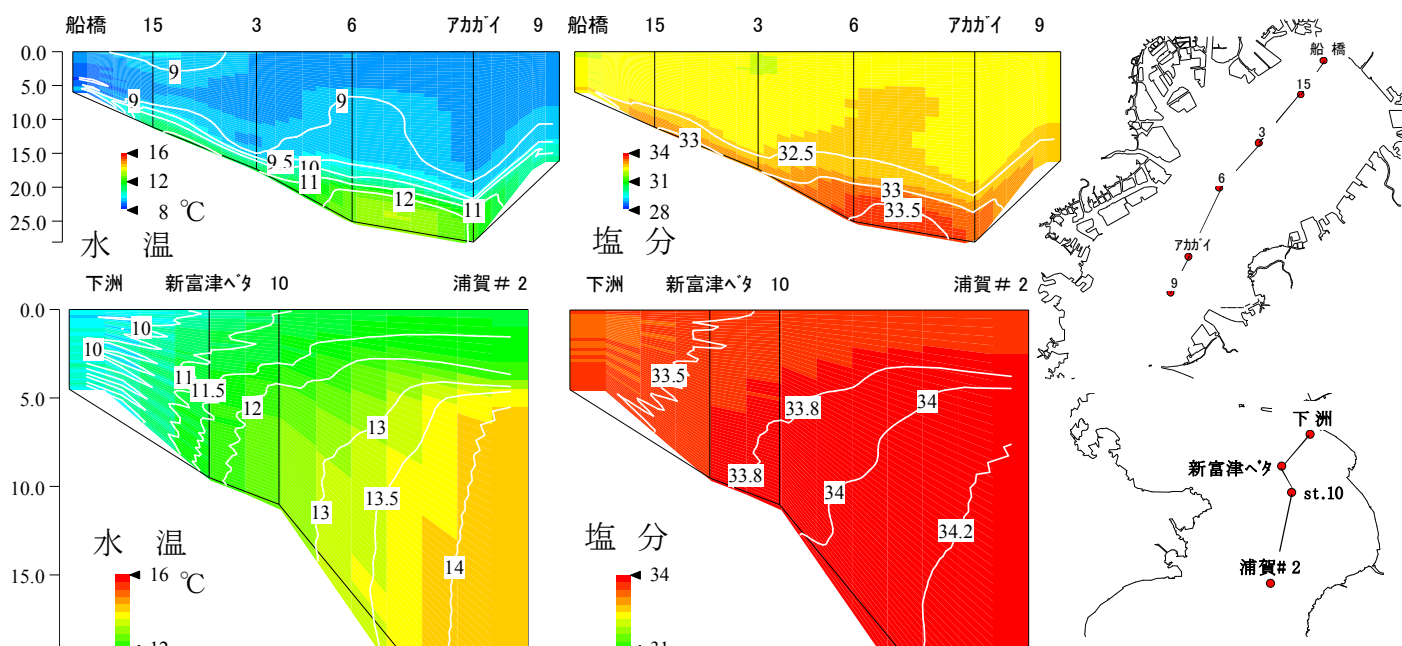


図2 断面の水温・塩分の鉛直分布(平成24年 2月20, 21日)  
 (上：内湾(2/20)、下：内房北部(2/21)、右：調査ライン)

## 【赤潮・栄養塩の状況】

赤潮は湾奥部の千葉県側で再び発生し、千葉北部地区のノリ漁場周辺ではpHは8.6に上昇、透明度は2m前後まで低下し、水色も褐色を呈するほどのやや濃い赤潮状態です。優占種はケイ藻のタラシオネマで、その他にスケルトネマやディチウムも多くみられています。また、ノリの色落ち被害をもたらすユーカンピアもわずかながらみられています。

表層の栄養塩(図3)は窒素(DIN)は十分にありますが、リン(DIP)が内湾で少なくなっています。内湾の各地先(図4)もノリの色素低下が懸念される濃度まで減少していますので、今後の動向には注意が必要です。

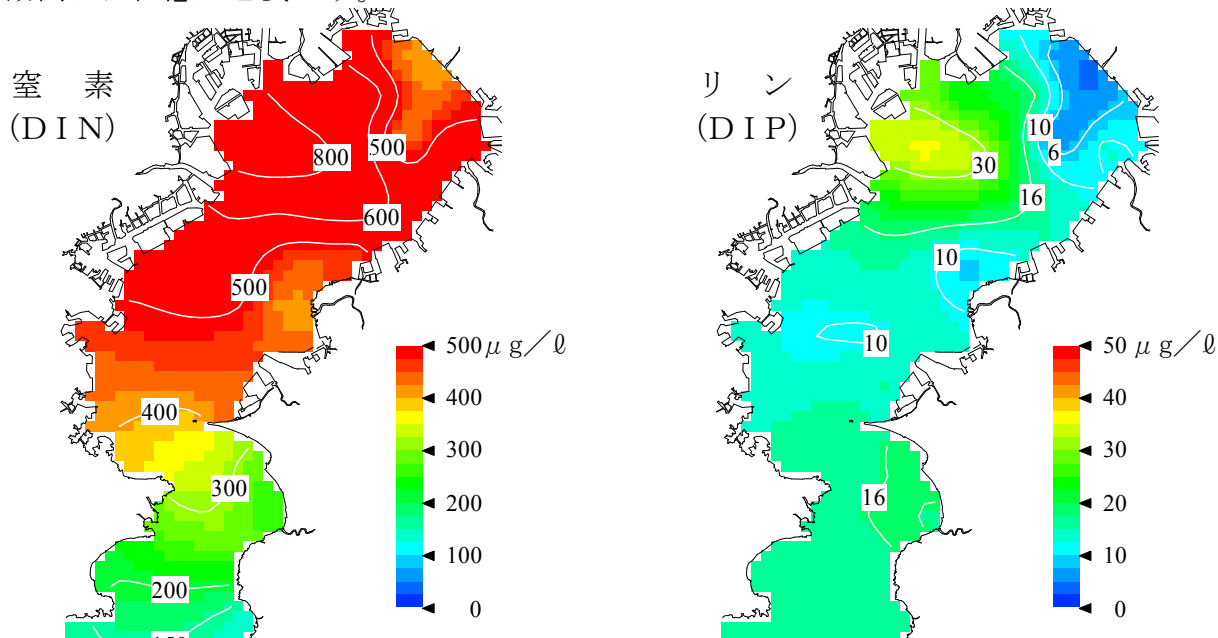


図3 表層の栄養塩濃度の分布 (内湾～内房北部：平成24年2月20, 21日)

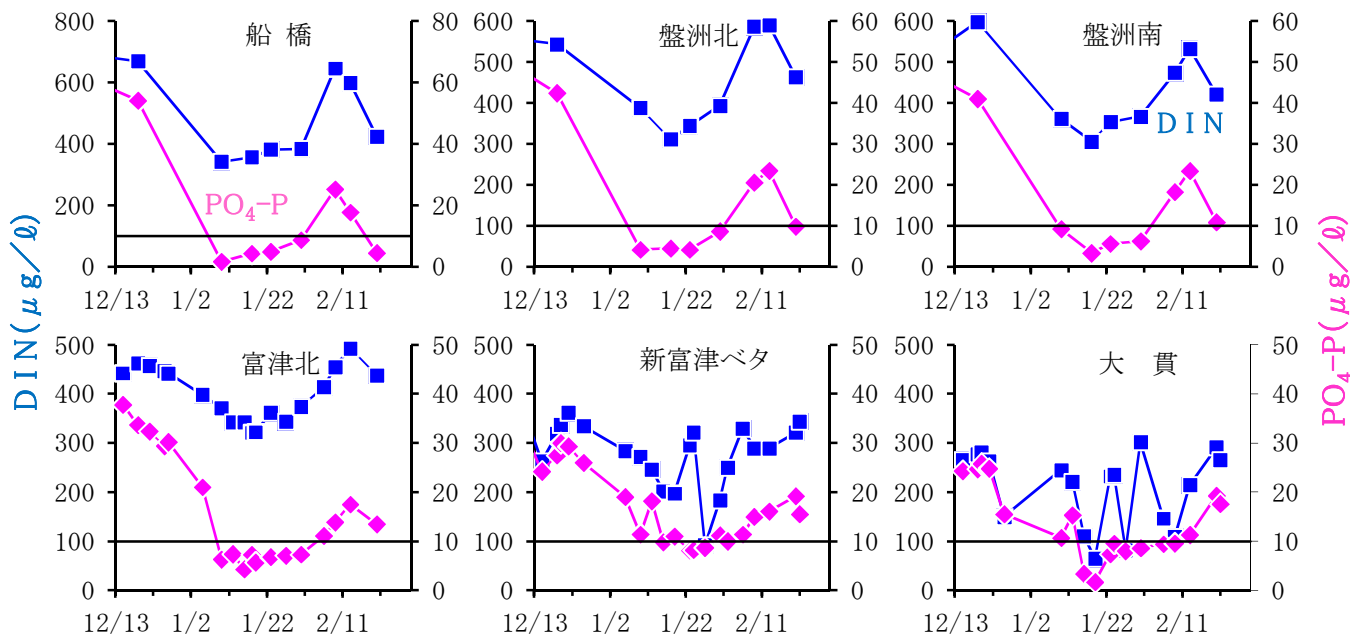


図4 各地先における栄養塩濃度の経過 (表層：平成23年12月13日～24年2月21日)

### 川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報しています。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン：[http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main\\_frame.html](http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html)

携帯：[http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile\\_forecast.html](http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html)